

平成 21 年 3 月 13 日

2009 年 4 月以降のナショナルチーム⇒Crew JAPAN の活動について

ナショナルチーム委員会

はじめに

ようやく 2 月より新ヘッドコーチが活動を開始し、ロンドン五輪に向けての強化活動がスタートを切りました。ここで、新ヘッドコーチ (Mr. Diethelm Maxrath 愛称 ; マックス) の方針を基本として、4 月以降のナショナルチーム⇒Crew JAPAN 活動を発表いたします。今シーズンについては、いくつか新たな試みも行いますので、以下の内容をご精読賜りますようお願い申し上げます。

なお、今期よりナショナルチームの愛称を Crew JAPAN と定め、Crew JAPAN サポートキャンペーンなどを展開して、多くの方々からお力添えをいただけるように努力してまいります。

ロンドン五輪の目標

まず、2012 年ロンドン五輪の目標を定めることから始めます。

もちろん、大目標「メダル獲得」が悲願としてありますが、それを実現するための目標として、より具体的には次のように考えます。

①軽量級 3 種目全てで五輪予選を突破し、ロンドン五輪に出漕すること。

②3 種目のうち、2 種目で決勝(Final A)に進出すること。

②はもちろんのこと、①もかなり高いハードルを越えねばなりません、関係者一丸となつての活動でクリアしてまいります。

オープン種目での五輪チャレンジをあきらめたわけではありませんし、オープン種目についても具体的な目標を定めますが、現状での最優先かつ有望な目標は上記の①、②になります。

今シーズンのナショナルチーム⇒Crew JAPAN (シニア) 目標

①世界選手権 (8 月 23 日～30 日、ポーランド) へ LM1x,LM2x,LM4-,LW1x,LW2x の 5 種目を派遣し、LM1x,LM2x,LW2x は Final A 進出、LM4-,LW1x は Final B 進出を目指します。

②JOC からの通知に基づき、東アジア大会 (12 月 9 日～12 日、香港) へ上記 5 種目を派遣し、全種目でのメダル獲得、うち少なくとも 2 種目は金メダルを目指します。

8 月末までの Crew JAPAN (シニア) 選考・活動スケジュール (以下は、現在の

予定で変更になることがあります)

ヘッドコーチ、マックスの意向により、3月合宿では選考は行わず、参加者全員にかなりのハードメニューを課す「強化合宿」とすることになりましたので、4月合宿(4月11日～24日に戸田で実施)で選考を行い、Crew JAPAN(シニア)20名程度を選出し、その中から世界選手権へ派遣する上記5種目の代表選手も暫定的に決定します。

Crew JAPAN(シニア)メンバーについては、代表選手(暫定)、その他の選手共に、引き続き行われる5月合宿(5月7日～13日、戸田)および6月合宿(6月6日～11日、場所未定)で強化を図ります。6月合宿で最終的に世界選手権代表を確定し、代表メンバーは、6月12日にヨーロッパへ出発、ワールドカップ第2戦(ミュンヘン)、第3戦(ルツェルン)を戦い、1時帰国し、国内合宿を経て、8月4日に再び出発、8月23日開幕の世界選手権(ポーランド)に臨みます。

なお、本年は、世界選手権代表に漏れたCrew JAPAN(シニア)のメンバーについても、Crew JAPAN全体のレベルアップを図ること、世界選手権代表のスペアとしての準備を常に行うことを目的として、必要に応じた国内合宿を6月～8月にかけて数回実施いたします。その際、Crew JAPANのメンバー入れ替えも実施いたします。

9月以降12月東アジア大会までのCrew JAPAN(シニア)活動

東アジア大会(12月9日～13日、香港)には、実施される男子7種目、女子6種目のフルエントリーをJOCに申請いたしましたが、JOCの回答は厳しいもので、男子7人、女子3人の派遣のみが認められました。これは、前回2005年のマカオ大会の男子10人、女子7人に比較しても大幅減となります。また、東アジア大会のエントリー締め切りが早く8月中にはJOCに個人名でのエントリー申請を行わねばなりません。一方で、東アジア大会での成績は、JOCの強化査定判断材料として重要なものになりますので、ベストメンバーを派遣する必要があります。この結果、今回の東アジア大会には、世界選手権派遣メンバーをそのまま派遣することを原則にすることといたしました。

Crew JAPAN(シニア)につきましては、国体終了後、国内合宿を経て、アジア選手権(11月5日～8日、台湾)に参戦、再び国内での事前合宿を行った後、東アジア大会(12月9日～13日)に出漕することになります。この際も、代表選手以外のCrew JAPAN(シニア)メンバーにも合宿には参加してもらい、Crew JAPAN(シニア)全体での継続的な強化を行います。また、10月以後の国内合宿は、2010年シーズンのCrew JAPAN組成の第1段階として位置づけ、選考合宿ともなります。

U23(Crew JAPAN(U23))の活動

U23については、ジュニアとシニアの間であって、現状、強化が最も難しいカテゴリーになっています。その主な原因は、この年齢層の選手の多くを占める大学生選手にとって、春先から7月末のU23世界選手権までの期間が、学業においても所属するボート部におい

でも優先度の高いスケジュールが多々あり、Crew JAPAN (U23) の活動に参加しにくい状況が存在することにあります。このミスマッチは、早急に解決すべき課題ですが、今シーズンはこれらの問題を抱えつつ進まざるを得ません。

この前提条件を受けて、本年の Crew JAPAN (U23) については、最終目標の U23 世界選手権 (7月 23 日～26 日、チェコ) に、LM2x、LM4⁻、LW2x のシニア世界選手権種目と同じ種目で下記の事前準備条件をクリアする種目のみを派遣することにいたします (LM4⁻については、LM2⁻に変更することがあります)。選手最終選考は、シニアと同様、4 月合宿 (4 月 11 日～17 日 (シニアは 4 月 11 日～24 日) に戸田で実施) 行います。前記のような難しい状況が有りますので、選手を選んでも十分な練習、準備が行えずに U23 世界選手権を戦うことのないように、選出後の準備対応状況を選考の重要な要素に加えます。具体的には、①5 月の全日本軽量級選手権 (Japan Cup) 終了後、6 月末までの間に合計 3 週間の合宿もしくはそれと同様の練習が、代表クルーとして行えること。②7 月 7 日ごろに日本を出発し、ヨーロッパでの十分な事前合宿を行って U23 世界選手権に臨めること。選考される選手は、通常の選考要素に加えて、この 2 点に対応できることを前提といたします。

U23 についても、シニア同様、Crew JAPAN (U23) を組成し、最終代表に漏れた選手についても、実情に合わせて継続的な強化を図ります。

U19 (Crew JAPAN (ジュニア)) の活動について

本年も、世界ジュニア選手権 (8 月 5 日～8 日、フランス) とアジアジュニア選手権 (11 月 5 日～8 日、台湾) に派遣いたします。選考は、世界ジュニアについては、例年通り、6 月 12 日～14 日の JOC ジュニアオリンピック全日本ジュニアボート選手権 (熊本) を選考レースといたします。アジアジュニアについては、例年、世界ジュニアと同時に 6 月に選考しておりましたが、余りに早すぎるという反省に基づき、今年は、試みに 8 月 25 日に選考レースを戸田で開催することにいたします。8 月の選考レースへの参加資格などの詳細は、追って発表いたします。

Crew JAPAN (ジュニア) についても、選考後、選手権までの事前準備を十分に行えるようにするため、特に世界ジュニア代表については、ヨーロッパでの事前合宿をより長く行えないか検討中です。

「チャレンジプログラム」について

以上、年齢カテゴリーごとの Crew JAPAN の今シーズンの活動内容について、説明してまいりましたが、その他に、今シーズンについては、「チャレンジプログラム」と銘打った活動が展開されます。

このプログラムは、2 つの内容から成り立っています。

その内の 1 番目のプログラム「単独クルーの海外派遣」については、厳密にはナショナルチーム委員会の範疇ではありませんので、詳しくは別途発表されました理事長名の文書を

参照してください。

「チャレンジプログラム」の第2の内容は、Crew JAPAN メンバー（Crew JAPAN (U19) メンバーは除きます。以下同じ）の所属団体を「強化指定団体」として協会が指定し、Crew JAPAN メンバーが常に練習機会をより得やすくなる環境を作ることです。「強化指定団体」となることで、Crew JAPAN メンバーのみならず、チームメート全体を強化しやすくする形を作ります。「強化指定団体」には協会から金銭的支援はできませんが、マンパワー、機材などでサポートする予定です。

以上で、今シーズンの派遣計画の説明を終えますが、より詳細な説明が必要な部分については、早急に個別に発表いたします。

Crew JAPAN の資金調達→「Crew JAPAN サポートキャンペーン」

ところで、今年の派遣計画は、五輪の翌年ということで発掘の年ということもあり人数的には大規模になっています。一方で、五輪の翌年は、JOC などの助成が絞られることとなります。結果として、Crew JAPAN の事業計画を見ると、今年は財政的に苦しい年になるといわざるを得ません。

ご承知のように JARA は厳しい財政状況にありますので、その中での Crew JAPAN の事業遂行には、資金調達面でのご入力が必要です。4 月からの JOC の助成額が決定していませんので、はっきりとした事業予算を確定できませんが、前述した今シーズンの活動を実現するために、次の2点を実行いたします。

①今シーズン予想される収支バランスから見て、今シーズンは恐縮ながら、少なからず個人負担の増額をお願いせざるを得ないと考えています。

②しかし、財政状況を安定的に改善させるためには、新たな資金調達手段を作りださねばならないと考えます。そのために今シーズンより、「Crew JAPAN サポートキャンペーン」と題する募金活動を開始いたします。新たに制定する Crew JAPAN のシンボルマーク、ロゴの元、多くの方々からお一人 1 万円程度のご支援をいただけるようなキャンペーンを展開してまいります。

おわりに

以上、Crew JAPAN の 4 月以降の活動計画を中心に縷々述べてまいりましたが、Crew JAPAN は皆さんのチームです。是非、叱咤激励いただき、忌憚のないご意見を頂戴し、皆様により育てていただきたいと願っております。

よろしくごお願い申し上げます。

以上